

大泉

チャレンジ

石井 友行

チャレンジの夏休みでした。

まずはロンドンオリンピックの選手たち。中でも大泉小出身の伊藤正樹選手はトランポリン競技で四位入賞と素晴らしい成績を残しました。練習で忙しい中、学校に来ていただいて全校朝会で私たちにいろいろな話をしてくださいました。競技後ご本人はメダルを取れず少し残念な気持ちでいらつしやうたようですが、インタビュアーの記事などを拝見すると、この結果を冷静に分析し、もう次のリオへのチャレンジをスタートされています。すごいことです。

次に印象に残ったチャレンジはアメリカの火星探査機キュリオシティです。この探査の目的は火星に生命は存在していたか、または存在しているかというものです。キュリオシティの重さは九百キログラムもあって、小型自動車なみの重さがあります。これから二年以上、火星を動き回って、探査活動を行います。火星は大気が薄いのでこんなに重いものを着陸させるのはとても難しいのだそうです。失敗するかもしれないこのチャレンジに数十億ドルという予算をかけ、NASAの監

< 発行 >
練馬区立大泉小学校

< 所在地 >
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



さんは祈るような気持ちで八月六日を迎えました。そして、着陸は見事に成功しました。早速活動を開始し、火星の様子をカメラでとらえ地球にどんどん送ってきています。夜空にボツンと赤く光る火星の上で、今まさにキュリオシティは探査を続けているのです。

今年の夏休みは何かチャレンジする夏休みにしようと、夏休み前の全校朝会で子供たちに話しました。お子さんのチャレンジはどんな様子でしたか。今までできてきたことをただやるのはチャレンジとは言いません。できるかどうかかわからない。でも、こんな練習をしてこんなふうになればできるかもしれない。と目標、計画を立てて取り組むのがチャレンジです。もちろんうまくいくことあれば、失敗することもあります。でも、自分の思うような結果が出なくても、伊藤選手のように、「どうすればうまくいくのだろう。」と考え、計画を立ててあきらめずにまたチャレンジをする。この繰り返しが人を成長させます。それは、学習や運動、生活全般なんにでも当てはまります。

さて、九月から学校では運動会へのチャレンジが始まります。練習では辛い場面もあるかもしれませんが、それを乗り越えようと努力を続けることで子供たちは多くのことを学び、やがては達成感、自己肯定感を味わい成長していきます。応援をお願いいたします。

9月の行事予定

- 3日(月) 夏休み後朝会
身体測定(6)
- 4日(火) 特別時程(4時間授業)
避難訓練
身体測定(5)
- 5日(水) 給食始め(5時間授業)
委員会活動
保護者会(34)
- 6日(木) 身体測定(4)
- 7日(金) 連合水泳記録会(6)
連合水泳記録会予備日
身体測定(2)
- 8日(土) 道徳授業地区公開講座
4時間授業
クラブ活動
身体測定(15)
- 10日(月) 安全指導
身体測定(12)
- 11日(火) 身体測定(3)
4時間授業
(3年1組除く)
- 12日(水) 保護者会(565)
- 13日(木) 敬老の日(休日)
- 17日(月) 運動会係打ち合わせ
- 18日(火) 秋分の日
- 22日(土) クラブ活動
- 24日(月) 運動会全体練習
- 26日(水) 運動会全体練習
- 27日(木) 運動会総合練習
- 28日(金) 運動会準備
- 29日(土) 運動会
- 30日(日) 運動会予備日

《9月の生活目標》
「登校時間を守りましょう」
長い夏休みが終わり、学校生活が始まりました。夏休み中は、暑いからと、生活リズムも崩れがちになってしまっていないでしょうか。夏の疲れも残っています。気持ちを切り替え、体調を整えて、生活リズムの立て直しをしましょう。

- 1 まず早起き
- 2 朝ごはんをしっかりきちんとたべましょう。
- 3 外で元気に体を動かしましょう。
- 4 夜はたっぷり寝て、体を休めましょう。

今月の生活目標は、「登校時間を守りましょう」です。本校では、集会のある月曜日と水曜日は八時二十五分までに登校です。

今年度に入り、月曜日の全校朝会でも、遅刻する児童がほとんど見られなくなりました。五分前集合の習慣も身につけてきているようです。ご家庭での協力ありがとうございます。

朝の爽やかなスタートは、脳も活性化し、学習への取りかかりもすみやかになります。九月になり、また新たな気持ちで生活リズムを作ってください。

(栗原 町子)

水分補給と「ひんやりマフラー」について

本校での水分補給は、主に衛生管理の理由から水筒は使わずに水道および設置されているウォータークーラーによって行っています。学校の水道は毎日水質検査を行っています。また大泉小は水道管直結式なので比較的冷たい水が出ます。また、「ひんやりマフラー」を首に巻いて登校するお子さんがいますが、安全管理上、学校での使用は控えるようお願いいたします。教室はエアコンで室温の管理を行っています。以上、ご協力をお願いいたします。この件について事情がある場合は担任までご相談ください。

道徳授業地区公開講座について

道徳の時間は、「ねらいに照らして、子供一人一人が自分の生き方の中の課題について深く感じたり、考えたりする時間」と言われています。道徳の時間は、学校教育における心の教育の要の時間となっています。その授業の質を高めることが、子供たちの心を育てるために大切だと考えられています。

そしてもう一つ、子供たちの心を育てるために大切なことがあります。それは、子供たちに豊かな体験を積ませることです。その体験は、人、自然、社会との豊かななかかわりの中にあります。そして、体験の場は、家庭、地域、学校です。

道徳の授業の中でその体験を振り返らせ、自分のよさや課題に気付かせることで、心を育てていきます。学校における道徳授業を公開し、家庭、地域、学校が共に子供たちの心の教育を考えていくことが大切なのは、そのためです。

九月八日(土)の三、四校時に本校で道徳授業地区公開講座を開催します。三校時には、全学級で一斉に道徳の授業の公開を行います。そして、四校時には体育館で「講演会」を行います。

三校時の道徳授業公開では、各学級とも、「生命尊重」、「思いやり・親切」、「家庭愛」などをテーマで各担任が準備をしていますので、多数の保護者の方に参観していただきたいと思えます。四校時の講演会では、今回は、いのちのミュージアム代表理事の鈴木共子先生に、「息子の分まで生きる かけがえのない命 伝えたい」というテーマで講演をしていただきます。こちらぜひご参加ください。

(和智 令子)

運動会

二十九日(土)に運動会が行われます。本年度は百二十周年記念の年でもあり、運動会も「開校百二十周年記念運動会」と、例年よりも特別な運動会でもありません。

せつかくの百二十周年ですから各学年の演技や競技のなかで、百二十周年を祝う取り組みを行います。どんな取り組みが行われるかは、本番を楽しみにしてください。

これから運動会の準備・練習が本格的に始まります。運動会は、たくさんの感動を見せられる学校の一大イベントです。本番に素晴らしい姿を見せるために、子供たち一人一人が精いっぱい練習をしています。

得意な競技ではなくても、いい順位に入れなくても、一生懸命に取り組む事が大切で、その姿が感動を呼ぶ事を伝えていこうと思えます。ちょうど、オリンピックが開かれたこの夏、一生懸命に取り組むことの大変さとするばらしさを子供たちが学ぶ絶好のチャンスと考えています。

また、運動会の係の児童にも注目してください。高学年の児童が、運動会を成功させるために自分の役割を果たそうと率先して仕事をしています。運動会は、どの場面をとっても子供たちの活躍の瞬間がいっぱいです。

運動会という行事を機会に、子供たちが一層大きな成長をしてくれると願い、励ましていきます。

(遠藤 敦)

五組の夏く交流のプール

五組の夏といえば4年生以上の秩父キャンプと毎日の夏休みプールです。通常の学級と一緒に水を楽しみ、泳ぎを練習します。五組の水泳の目標は、泳法よりも速さよりも友達と一緒に長く泳ぎ続けることにあります。「長く安定した泳ぎを続ける」ことは、高学年の通常学級児童の目標でもあります。ある日の高学年夏休みプールで十五分泳に参加者全員で挑戦しました。初めて十五分間泳ぎ続けた子供たちの表情は達成感にあふれていました。一緒にがんばる気持ちと姿は互いに良い刺激になりました。互いに真剣に力を出す素晴らしい夏の交流場面でした。この体験はきつと九月の運動会練習や本番そして今後の互いのかかわり合いに生かすでしょう。

(宮内 聡朗)

心のふれあい相談室から

「モモ」という物語があります。灰色の男たちに「時間」を盗まれてしまった世界。「モモ」は幼い女の子で、いつも一人でいます。でもモモに話を聞いてもらっている、迷いが消え、引っ込み思案の人は勇気が出、悩みのある人は希望が湧いてくるのです。モモはただじつと座って聞いているだけなのに。そして、みんなが自分を取り戻した時、灰色の男たちは消え、盗まれた時間が戻ってきました。私たちはモモになれるのでしょうか？

日々の生活の中でも、自分の枠を捨て、相手の心の目線に寄り添うことができれば、誰にでもあるポジティブな心を少しでも浮上させることができるのではないのでしょうか。

(浅沼 玲子)

事務室から

一枚の割れた窓ガラスを放置しておくと、割られる窓ガラスがさらに増え、やがて治安の悪化など街全体の荒廃につながっていく」という有名な(割れ窓理論)があります。これは学校にもあてはまります。逆に言うと施設や物品の整備を心がけることで、児童の学習・生活面の向上が期待できるということです。本校ではこの夏季休業中に、教室廊下の児童持ち物掛け用フックの改修や大階段手すりの改修、転倒防止など多くの工事を実施しました。また全職員で各教科等の備品点検を実施し、教材の不足がないか、きちんと整備されているか等のチェックを行いました。

今後も学校環境の整備に取り組んでいきたいと思えます。(安武 久実)

主事室から

私達の仕事は、子供たちが気持ちよく学校生活を過ごせるよう、日頃から学校の環境整備や美化に取り組んでいます。廊下やトイレ、校庭など校舎内外の清掃、ゴミの分別処理、花壇の管理等多岐にわたります。

夏休みも終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。秋の運動会や学習に子供たちが気持ちよく安全に取り組めるよう、主事室の二人、協力して頑張っています。

(主事室一同)